

地域活動再開に向けての『考え方』

～新型コロナウイルスに負けない安心・安全な『新しいつながりづくり』をめざして～

新型コロナウイルスに負けない 安心・安全な『新しいつながりづくり』をめざして

大阪府の緊急事態宣言が解除され、外出やイベントの開催の自粛が少しずつ緩和されています。

しかし、今までと同じような方法で、人が集い、ふれあい、顔を合わせて交流することが難しい状況にあります。

そこで、3密を避け、新しい生活様式に合わせた地域活動の再開の考え方として、この資料を作成しました。

記載する考え方は、『こうすれば絶対に大丈夫』という対策方法ではありませんが、『これからできることを考えるためのヒント』にしていたければ幸いです。



●3つの密を避けましょう

①換気の悪い
密閉空間

②多数が集まる
密集場所

③間近で会話や
発声をする
密接場面



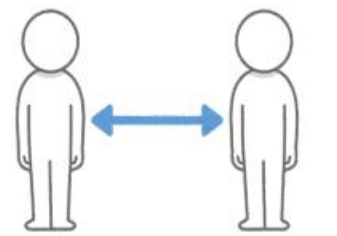
新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



●一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本

①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い



最低1m (できるだけ2mを目安に)



●全活動共通の前提として

緊急事態宣言 発令中
(府市による外出自粛 要請時)

人が集う地域活動や
会合は実施しない

緊急事態宣言 解除
(府市による外出自粛 緩和時)

人が集う地域活動や
会合の実施判断は
個別に行う



●活動実施時の対策について

新しい生活様式と共に…



●健康管理の徹底

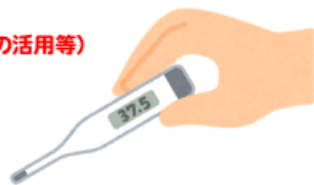
⇒参加者に発熱、倦怠感のある人、過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域へ訪問歴のある人がいないか確認

⇒ボランティア・スタッフの検温

⇒入館前の参加者の検温 (非接触型検温器等の活用等)

●咳エチケット等の徹底

⇒マスク着用、手洗い、消毒の徹底



●活動実施時の対策について

新しい生活様式と共に…



●3密の回避

⇒定期的な換気の徹底 (30分に1回程度、出入口や窓の開放等)

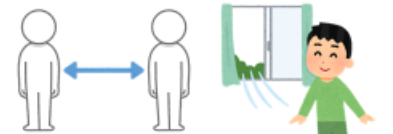
⇒人と人との接触を避け、お互いの距離をあけて活動する(1~2m程度)

⇒近距離での会話、発声等を避ける

●その他

⇒参加者全員の連絡先を確認する (ボランティア・スタッフ・当日参加者)
※情報については、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供する旨を明記する

⇒活動終了後、使用した机・椅子・施設設備等の消毒の徹底



●地域のつながりハート事業について



本編にて、各活動の実施に向けての工夫案を紹介しています。

各校区の実情や内容に合わせてご活用ください



※本資料は、令和2年5月末時点での情報に基づき作成しています。(今後、感染症に関する状況推移により、その時々国・大阪府・堺市等の発出内容に応じた判断が必要になることが想定されます)

※本資料については、今後、内容を追加・修正し、更新する場合があります。(更新版を発行する場合は、以下の日付表記を変更します)

社会福祉法人
堺市社会福祉協議会
(令和2年6月)